

学会専門医か？ 機構専門医か？

2021年更新まで

「学会専門医」または「機構専門医」、どちらか選んで申請できる。

更新時期	現在の認定期間 (終了年月日)	学会専門医または機構専門医	注意事項
2021年更新まで	2021年3月31日	どちらか選んで申請	【2021年更新】 2016年に機構専門医で更新した場合 機構専門医で更新 (学会専門医では更新できない)
2022年更新から	2022年3月31日	機構専門医で申請	学会専門医では更新できない

2021年 学会専門医 更新条件

- ① 総会または地区総会に1回以上参加
- ② 学会研修単位 100単位以上

従来どおりで、変更はない。

2021年 機構専門医 更新条件

- ① 総会または地区総会に1回以上参加
- ② 学会研修単位 0単位 + 機構研修単位 50単位

学会/機構	内訳		単位数
学会	合計		0単位
機構	i	診療実績の証明	10単位
	ii	専門医共通講習	3～10単位
		うち必修講習 (医療安全/感染対策/医療倫理)	うち3単位以上 (3項目 各1単位以上)
	iii	泌尿器科領域講習	15単位以上
	iv	学術業績・診療以外の活動実績	3～15単位
	合計		50単位

2022年以降 機構専門医（全員） 更新条件

- ① 総会または地区総会に1回以上参加
- ② 機構研修単位 50単位

学会/機構	内訳		単位数
機構	i	診療実績の証明	10単位
	ii	専門医共通講習	3～10単位
		うち必修講習 (医療安全/感染対策/医療倫理)	うち3単位以上 (3項目 各1単位以上)
	iii	泌尿器科領域講習	15単位以上
	iv	学術業績・診療以外の活動実績	3～15単位
	合計		50単位

i) 診療実績の証明 免除

現在の更新回数が3回以上で、4回目以上の更新申請にあたる場合

→ 免除可

- 免除を選択する場合、この分の単位は不要。
代わりに「診療従事証明書」を提出する。
(書式決まり次第公開予定)
(例) 2022年更新 4回目以上の更新にあたる場合
本来必要な機構研修単位 (50単位)
ー 【免除】 診療実績の証明 (10単位)
＝40単位が必要
- 免除を選択しない場合は、i) 診療実績の証明 (10単位) が必要。

i) 診療実績の証明 免除 更新回数の調べ方

- ①認定証に貼付されている認定シールで調べる
 - ②会員MyWebの「登録情報の確認と編集」にある「専門医情報」で調べる
- 【免除可】

更新回数 「3回」 以上

認定番号末尾 「14」 以上



専門医情報	
研修登録番号	—
研修開始年月日	—
認定番号	20019999 14
初回認定年月日	2001年 4月 1日
更新回数	3回
認定期間	<開始> 2016年 4月 1日 ~ <終了> 2021年 3月 31日
機構区分	—
過去情報	×

i) 診療実績の証明

「手術症例」「症例一覧」組み合わせ

「手術症例」と「症例一覧（外来診療症例）」を組み合わせで単位を満たしてもよいし、どちらか片方のみで満たしてもよい。

（例）2021年 i) 診療実績の証明 10単位

①「手術症例」と「症例一覧」

手術/症例	症例数	単位
手術症例一覧	40例	4単位
症例一覧（尿路性器感染症）	40例	4単位
症例一覧（慢性腎不全）	20例	2単位
合計	100例	10単位

②「手術症例」のみ

手術/症例	症例数	単位
手術症例一覧	100例	10単位
合計	100例	10単位

③-1「症例一覧」のみ

手術/症例	症例数	単位
症例一覧（尿路性器感染症）	100例	10単位
合計	100例	10単位

③-2「症例一覧」のみ

手術/症例	症例数	単位
症例一覧（尿路性器感染症）	60例	6単位
症例一覧（慢性腎不全）	40例	4単位
合計	100例	10単位

i) 診療実績の証明

「手術症例」「症例一覧」共通事項

- 生検は含めない。
- 複数の施設の症例をあわせて記入できる。
- 「責任者署名」は、主たる施設の責任者（泌尿器科の責任者）が署名・捺印する。自分自身が責任者の場合は自分で署名・捺印する。

i) 診療実績の証明

手術症例 フォームDL

- ①手術症例一覧表（様式2）②NCD登録症例証のいずれかを提出する。
- 専門医初回（2018年以降研修開始登録）と異なり、①手術症例一覧表（様式2）、②NCD登録症例証、どちらを利用してもよい。
- ②NCD登録症例証に記載されている分だけでは不足する場合、NCD登録症例証に記載されていない分を①手術症例一覧表（様式2）に記載し、①②あわせて提出してもよい。

- NCD-Personからダウンロード可。
- 会員MyWebログイン後、NCD-Personへアクセスできる。
- NCD-Person簡易マニュアル（下記URLからDL可）

[illegible]


NCD
National Clinical Database

National Clinical Database
関連団体所属医師専用システム

NCD - Person


先生

機能選択メニューへ戻る

ログアウトする

設定

機能選択メニュー

機能を選択してください。

- 2022年 初回 申請用
- 2020年 更新 申請用
- 2021年 更新 申請用
- 2018年4月1日～2019年3月31日分症例
- 2019年4月1日～2020年3月31日分症例

Copyright © National Clinical Database. All Rights Reserved.

11

i) 診療実績の証明

手術症例 注意事項

- 10例＝1単位になる。

【①手術症例一覧表（様式1）を利用する場合】

- 「番号」「手術術式」は、「参照資料1：泌尿器科領域の主な手術一覧表」を参照する。
- 「術者/指導者」は、自分が術者だった場合は「術者」、指導する立場だった場合は「指導者」と記入する。指導者の場合、日本泌尿器科学会の指導医資格の有無は問わない。

[ホーム](#) > [専門医制度](#) > [専門医制度について](#) > [新専門医制度について](#)

[illegible]13

i) 診療実績の証明

症例一覧 注意事項①

- 手術以外の外来診療について記載する。
- 領域は7つある。
 - ①尿路性器感染症 ②下部尿路機能障害 ③尿路性器腫瘍
 - ④尿路結石症 ⑤慢性腎不全 ⑥小児泌尿器科疾患
 - ⑦不妊・アンドロロジー
- 1領域10例＝1単位になる。
 - (例) 尿路性器感染症10例→1単位になる
 - 尿路性器感染症8例+慢性腎不全2例→1単位にならない

i) 診療実績の証明

症例一覧 注意事項②

- 必ずしも初診でなくても構わないが、泌尿器科専門医としてふさわしい疾患と診療内容のもので、同一人物の同一疾患が重複しないように記入する。ただし、2つ以上の領域にまたがる場合は、それぞれを1カウントとすることができる。
- 「担当医/指導医」は、自分が担当医だった場合は「担当医」、指導する立場だった場合は「指導医」と記入する。指導医の場合、日本泌尿器科学会の指導医資格の有無は問わない。

講習単位①

ii) 共通講習 + iii) 領域講習

- 必要な講習単位の40%以上を、卒後教育プログラム（総会・地区総会会場、e-ラーニング）を受講することで取得する。
- JUA academyにある「取得単位一覧表」「受講完了状況（e-ラーニング・JUA WEBINAR）」に反映されない講習（関連学会の講習会など）については、更新申請時に受講証明書（原本）を添付して提出することで単位として認められる。

講習単位②

ii) 共通講習 + iii) 領域講習

▼5.機構専門医更新のための講習単位一覧表

ホーム＞ 専門医制度＞ 専門医制度について＞ 新専門医制度について

https://www.urol.or.jp/specialist/system/about_new.html

（医師会・基幹施設の講習会などは記載していない）

ii) 専門医共通講習 「共通講習」と「必修講習」

共通講習の一部（医療安全・感染対策・医療倫理）が、必修講習になっている。

主な共通講習

- 医療安全（必修講習）
- 感染対策（必修講習）
- 医療倫理（必修講習）
- 保険医療

など…

ii) 専門医共通講習 受講方法

- 卒後教育プログラム（総会・地区総会会場にて）
 - 総会企画プログラム（総会・地区総会会場にて）
（新専門医制度対応専門医共通講習）
 - e-ラーニング
 - 地方会の講習会
 - 関連学会の講習会
 - 医師会の講習会
 - 基幹施設の講習会
- など…

卒後教育プログラム・総会企画プログラム（新専門医制度対応専門医共通講習）・e-ラーニング以外は、学会または日本専門医機構に申請して認められたものに限る。

iii) 泌尿器科領域講習 受講方法

- 卒後教育プログラム（総会・地区総会会場にて）
 - 総会企画プログラム（総会・地区総会会場にて）
（新専門医制度対応泌尿器科領域講習）
 - e-ラーニング
 - JUA WEBINAR
 - 地方会の講習会
 - 関連学会の講習会
- など…

卒後教育プログラム・総会企画プログラム（新専門医制度対応泌尿器科領域講習）・e-ラーニング・JUA WEBINAR以外は、学会に申請して認められたものに限る。

iv) 学術業績・診療以外の活動実績

- 学術集会（総会・地区総会、地方会、認められている他学会）の参加で認められるのは、6単位まで。

（例）

①総会1回（3単位）+ 地区総会1回（3単位）＝6単位（上限）

②地方会（2単位）×3回＝6単位（上限）

- 学会発表は、筆頭のみ認められる（1単位）。
- 論文発表は、筆頭（2単位）、連名（1単位）とも認められる。

▼参照資料2：泌尿器科専門医教育研修単位一覧表

ホーム＞ 専門医制度＞ 専門医制度について＞ 新専門医制度について

https://www.urol.or.jp/specialist/system/about_new.html

講習を何講座受講すればよいか？

1. 専門医更新回数を確認する。
2. 「取得単位一覧表」「受講完了状況（e-ラーニング・JUA WEBINAR）」で、現在の取得単位数をそれぞれ確認する。
3. 現在の取得単位数が、「i) 診療実績の証明」～「iv) 学術業績・診療以外の活動実績」のどの項目にあてはまるか確認する。
4. 不足があれば、その分を受講する。

①単位不足

講習の受講単位で不足分を充足することもできる。

②必要な講習単位に対して卒後教育プログラム

（総会・地区総会会場、e-ラーニング）分が40%未満の場合

卒後教育プログラム（総会・地区総会会場、e-ラーニング）を受講する。

講習を何講座受講すればよいか？

①専門医更新回数を確認する

- 「i) 診療実績の証明」が免除される可能性があるため、確認する必要がある。
- 現在の更新回数が3回以上で、4回目以上の更新申請にあたる場合
→ **免除可**（免除を選択する場合、この分の単位は**不要**）

【確認方法】

- ①認定証に貼付されている認定シールで調べる
- ②会員MyWebの「登録情報の確認と編集」にある「専門医情報」で調べる



専門医情報			
研修登録番号	—		
研修開始年月日	—		
認定番号	20019999	14	
初回認定年月日	2001年 4月 1日	更新回数	3回
認定期間	<開始> 2016年 4月 1日 ~ <終了> 2021年 3月 31日		
機構区分	—		
過去情報	×		
メモ			

講習を何講座受講すればよいか？

②「取得単位一覧表」「受講完了状況」を確認する

- 必要条件（単位数、講習単位の割合など）を満たしているか確認するために、調べる必要がある。
- e-ラーニング、JUA WEBINARの受講完了状況は、取得単位一覧表に反映されないため、それぞれ確認する。

【確認方法】

- 会員MyWebにログイン後、JUA academyにある「取得単位一覧表」「受講完了状況（e-ラーニング・JUA WEBINAR）」で確認する。

取得単位合計：143 会員番号： 様			
区分	名称	単位加算対象	単位数
受講	2017/1/127	第67回中部総会・卒後教育プログラム1.2	2
受講	2017/1/127	第67回中部総会・卒後教育プログラム1.5	2
受講	2017/1/127	第67回中部総会・卒後教育プログラム1.9	2
受講	2017/1/127	第67回中部総会・卒後教育プログラム1.9	2
受講	2017/1/127	第67回中部総会・卒後教育プログラム2.2 (※「尿路上皮癌」受講済)	2
参加	2017/1/124 ~ 2017/1/127	第67回中部総会・参加	10
参加	2016/1/105 ~ 2016/1/106	第145回広島県会・参加	6
受講	2016/6/24	第134回総会・卒後教育プログラム8	5
受講	2016/6/24	第134回総会・卒後教育プログラム10	5
参加	2016/6/23 ~ 2016/6/25	第134回総会・参加	20
受講	2017/6/24	第135回総会・卒後教育プログラム2.5	3
受講	2017/6/24	第135回総会・卒後教育プログラム3.1	3
受講	2017/6/24	第135回総会・卒後教育プログラム3.3 (※「腎臓病」受講済)	3
受講	2017/6/24	第135回総会・卒後教育プログラム3.7 (※「腎臓病」受講済)	3
受講	2017/6/24	第135回総会・卒後教育プログラム4.3	3
受講	2017/6/24	第135回総会・卒後教育プログラム4.5	3
参加	2017/6/21 ~ 2017/6/24	第135回総会・参加	20
受講	2016/1/126	第68回西日本総会・卒後教育プログラム8 (※「腎臓病」受講済)	5
受講	2016/1/126	第68回西日本総会・卒後教育プログラム9	5
受講	2016/1/126	第68回西日本総会・卒後教育プログラム10	5
参加	2016/1/124 ~ 2016/1/127	第68回西日本総会・参加	15
受講	2017/1/111	第69回西日本総会・卒後教育プログラム2 (※「腎臓病」受講済)	3
参加	2017/1/109 ~ 2017/1/112	第69回西日本総会・参加	15

受講完了状況 会員番号： 氏名：			
受講区分	コース・タイトル	属性	受講状況
e-ラーニング	卒11 泌尿器科血管病変・血尿の救急	2016 東部 領域 外傷・救急医療	受講済 (2018/03/■)
e-ラーニング	卒12 泌尿器科腹腔鏡手術の基本手技と合併症予防	2016 東部 領域 エンドウロロジー・腹腔鏡	受講済 (2018/03/■)
e-ラーニング	卒01 筋層浸潤のおよび転移性膀胱がんの診断と治療(尿路変向・化学療法を含む)	2016 西日本 領域 泌尿器科腫瘍	受講済 (2018/03/■)
e-ラーニング	卒02 副腎・後腹膜腫瘍の診断と治療	2016 西日本 領域 泌尿器科腫瘍	受講済 (2018/03/■)
e-ラーニング	卒14 感染対策の基本	2017 総会 共通 感染対策	受講済 (2018/03/■)
e-ラーニング	卒20 医療事故の情報収集・分析による再発防止の取り組み	2017 総会 共通 医療安全	受講済 (2018/03/■)
e-ラーニング	卒05 チームで進める泌尿器科領域の患者安全	2017 中部 共通 医療安全	受講済 (2018/03/■)
e-ラーニング	卒12 医療と研究における倫理	2017 西日本 共通 医療倫理	受講済 (2018/03/■)

受講完了状況 会員番号： 氏名：			
受講区分	コース・タイトル	属性	受講状況
WEBINAR	第1シリーズ「尿路上皮癌」No.2～診断～	2017 0 0 泌尿器科腫瘍	受講済 (2017/10/■)

講習を何講座受講すればよいか？

②「取得単位一覧表」「受講完了状況」を確認する

JUA academy トップページ

eラーニング受講状況表示
JUA WEBINAR受講状況表示
eラーニング、JUA WEBINARの「受講完了状況」はこちら。



eラーニング
eラーニングの受講、
「現在公開中のeラーニング受講によって
取得可能な単位数一覧」
はこちら。

研修単位・業績登録
「取得単位一覧表」はこちら。

「研修単位・業績登録」
> 「研修単位・業績登録【認定申請用】
はこちら」
> ①「単位取得状況」
> または②「認定更新申請書類」
> 「取得単位一覧表」

※「単位取得状況」でも確認できる。
「取得単位一覧表」は印刷向け。

Webキャスト・総会賞
JUA WEBINARの受講はこちら。

講習を何講座受講すればよいか？

②「取得単位一覧表」「受講完了状況」を確認する

取得単位一覧表 注意点

- 「取得単位一覧表」に記載されている単位数は学会研修単位なので、
「機構専門医更新のための講習単位一覧表」「泌尿器科専門医教育研修
単位一覧表」で機構研修単位を調べて換算する。

▼5.機構専門医更新のための講習単位一覧表

▼参照資料2：泌尿器科専門医教育研修単位一覧表

ホーム＞ 専門医制度＞ 専門医制度について＞ 新専門医制度について

https://www.urol.or.jp/specialist/system/about_new.html

講習を何講座受講すればよいか？

②「取得単位一覧表」「受講完了状況」を確認する

e-ラーニング 注意点

- 受講完了（視聴後テスト合格）したもののみ単位として認められる。テストは何度でも受けられる。
- 現在の認定期間内に総会・地区総会で開催された講習が単位として認められる。
（例）2021年更新（現在の認定期間 2016年4月1日～2021年3月31日）
第105回総会（2017年） 卒後20 → 認められる
第103回総会（2015年） 卒後01 → 認められない
- 総会・地区総会で、同じプログラムを受講していないか確認する。重複してカウントはできない。
（例）第105回総会にて 卒後教育プログラム14（ビデオの場合は37）受講
e-ラーニングにて 第105回総会 卒後14 受講
→重複しているので、e-ラーニング分は単位にならない。

講習を何講座受講すればよいか？

②「取得単位一覧表」「受講完了状況」を確認する

e-ラーニング 単位確認方法

「受講完了状況」には単位数が表示されないので、「現在公開中のeラーニング受講によって取得可能な単位数」で確認する。

▼現在公開中のeラーニング受講によって取得可能な単位数

会員MyWebログイン> JUA academyトップ> e-ラーニング

講習を何講座受講すればよいか？

②「取得単位一覧表」「受講完了状況」を確認する

JUA WEBINAR 注意点

- 受講完了（視聴後テスト合格）したもののみ単位として認められる。テストは何度でも受けられる。
- 現在の認定期間内に公開された講習のうち、受講期間（単位が認められる期間）内に受講完了したものが単位として認められる。

講習を何講座受講すればよいか？

②「取得単位一覧表」「受講完了状況」を確認する

JUA WEBINAR 単位確認方法

「受講完了状況」には単位数が表示されないので、「泌尿器科領域講習（WEBINAR・AVJ・問題集）」で確認する。

▼6) 泌尿器科領域講習（WEBINAR・AVJ・問題集）

ホーム＞ 専門医制度＞ 専門医制度について＞ 新専門医制度について

https://www.urol.or.jp/specialist/system/about_new.html

講習を何講座受講すればよいか？

③取得単位が、ii)～iv) にあてはまるか確認する

現在の取得単位を、ii) 共通講習、iii) 領域講習、iv) 学術業績・診療以外の実績に分類する。

取得単位合計：143 会員番号： 様

区分	会期	単位加算対象	単位数
受講	2017/11/27	第67回中野総会・卒後教育プログラム13	13
受講	2017/11/27	第67回中野総会・卒後教育プログラム15	13
受講	2017/11/27	第67回中野総会・卒後教育プログラム18	13
受講	2017/11/27	第67回中野総会・卒後教育プログラム19	13
受講	2017/11/27	第67回中野総会・卒後教育プログラム22 (専門医共通講習:患者安全)	13
参加	2017/11/24 - 2017/11/27	第67回中野総会・参加	346
参加	2016/11/05 - 2016/11/05	第160回広島県会・参加	6
受講	2016/04/24	第104回総会・卒後教育プログラム8	156
受講	2016/04/24	第104回総会・卒後教育プログラム10	156
参加	2016/04/23 - 2016/04/25	第104回総会・参加	320
受講	2017/04/24	第105回総会・卒後教育プログラム25	13
受講	2017/04/24	第105回総会・卒後教育プログラム31	13
受講	2017/04/24	第105回総会・卒後教育プログラム33 (専門医共通講習:患者安全)	13
受講	2017/04/24	第105回総会・卒後教育プログラム37 (専門医共通講習:感染対策)	13
受講	2017/04/24	第105回総会・卒後教育プログラム43	13
受講	2017/04/24	第105回総会・卒後教育プログラム45	13
参加	2017/04/21 - 2017/04/24	第105回総会・参加	20
受講	2016/11/26	第68回西日本総会・卒後教育プログラム8 (専門医共通講習:患者安全)	13
受講	2016/11/26	第68回西日本総会・卒後教育プログラム9	13
受講	2016/11/26	第68回西日本総会・卒後教育プログラム10	13
参加	2016/11/24 - 2016/11/27	第68回西日本総会・参加	15
受講	2017/11/11	第69回西日本総会・指導医教育コース2 (専攻医共通講習:空室化対策)	-
参加	2017/11/09 - 2017/11/12	第69回西日本総会・参加	15

卒後5のビデオ講習

半病集会の参加は「6単位」まで

卒後13のビデオ講習

卒後14のビデオ講習

受講区分	コース・タイトル	氏名	受講状況
・ラーニング	卒11 泌尿器科血管病変・尿管の救急	2016 東部 領域 外傷・救急医療	受講済 (2016/03/■)
・ラーニング	卒12 泌尿器科腔内手術の基本手技と合併症予防	2016 東部 領域 エンボウロビー・腔内鏡	受講済 (2016/03/■)
・ラーニング	卒01 経嚥経胃のおよび経膀胱経尿の診断と治療(膀胱癌・尿管狭窄を含む)	2016 西日本 領域 泌尿器科領域	受講済 (2016/03/■)
・ラーニング	卒02 膀胱・泌尿器科癌の診断と治療	2016 西日本 領域 泌尿器科領域	受講済 (2016/03/■)
・ラーニング	卒14 感染対策の基本	2017 総合 共通 感染対策	受講済 (2017/03/■)
・ラーニング	卒20 医療事故の情報収集・分析による再発防止の取組み	2017 総合 共通 患者安全	受講済 (2017/03/■)
・ラーニング	卒05 チームで進める泌尿器科領域の患者安全	2017 中部 共通 患者安全	受講済 (2017/03/■)
・ラーニング	卒12 医療と研究における倫理	2017 西日本 共通 患者安全	受講済 (2017/03/■)

1

1

1

1

総会で受講しているため、カウントできない。

1

中部総会で受講しているため、カウントできない。

1

受講区分	コース・タイトル	氏名	受講状況
WEBINAR	第1シリーズ「尿路上皮癌」No.2～診断～	2017 00 泌尿器科領域	受講済 (2017/10/■)

1

講習を何講座受講すればよいか？

③取得単位が、ii)～iv) にあてはまるか確認する

取得単位一覧表（拡大）

取得単位合計：143 会員番号： 様			
区分	会期	単位加算対象	単位数
受講	2017/11/27	第67回中部総会・卒後教育プログラム 1 3	1 3
受講	2017/11/27	第67回中部総会・卒後教育プログラム 1 5	1 3
受講	2017/11/27	第67回中部総会・卒後教育プログラム 1 8	1 3
受講	2017/11/27	第67回中部総会・卒後教育プログラム 1 9	1 3
受講	2017/11/27	第67回中部総会・卒後教育プログラム22 (専門医共通講習:医療安全)	1 3
参加	2017/11/24 ～ 2017/11/27	第67回中部総会・参加	3 15
参加	2016/11/05 ～ 2016/11/05	第160回広島地方会・参加	6
受講	2016/04/24	第104回総会・卒後教育プログラム 8	1.5 5
受講	2016/04/24	第104回総会・卒後教育プログラム 1 0	1.5 5
参加	2016/04/23 ～ 2016/04/25	第104回総会・参加	3 20
受講	2017/04/24	第105回総会・卒後教育プログラム 2 5	1 3
受講	2017/04/24	第105回総会・卒後教育プログラム 3 1	1 3
受講	2017/04/24	第105回総会・卒後教育プログラム33 (専門医共通講習:医療倫理)	1 3
受講	2017/04/24	第105回総会・卒後教育プログラム37 (専門医共通講習:感染対策)	1 3
受講	2017/04/24	第105回総会・卒後教育プログラム 4 3	1 3
受講	2017/04/24	第105回総会・卒後教育プログラム 4 5	1 3
参加	2017/04/21 ～ 2017/04/24	第105回総会・参加	20
受講	2016/11/26	第68回西日本総会・卒後教育プログラム8 (専門医共通講習:医療安全)	1 3
受講	2016/11/26	第68回西日本総会・卒後教育プログラム 9	1 3
受講	2016/11/26	第68回西日本総会・卒後教育プログラム 1 0	1 3
参加	2016/11/24 ～ 2016/11/27	第68回西日本総会・参加	15
受講	2017/11/11	第69回西日本総会・指導医教育コース2 (男女共同参画委員会企画)	-
参加	2017/11/09 ～ 2017/11/12	第69回西日本総会・参加	15

卒後5のビデオ講習

学術集会の参加は「6単位」まで

卒後18のビデオ講習

卒後14のビデオ講習

講習を何講座受講すればよいか？

③取得単位が、ii)～iv) にあてはまるか確認する

e-ラーニング受講完了状況（拡大）

受講完了状況		会員番号:	
受講区分	コース・タイトル	氏名:	属性
e-ラーニング	卒11 泌尿器科血管病変・血尿の救急		2016 東部 領域 外傷・救急医療
e-ラーニング	卒12 泌尿器腹腔鏡手術の基本手技と合併症予防		2016 東部 領域 エンドウロロジー・腹腔鏡
e-ラーニング	卒01 筋層浸潤のおよび転移性膀胱がんの診断と治療(尿路変向・化学療法を含む)		2016 西日本 領域 泌尿器科腫瘍
e-ラーニング	卒02 副腎・後腹膜腫瘍の診断と治療		2016 西日本 領域 泌尿器科腫瘍
e-ラーニング	卒14 感染対策の基本		2017 総会 共通 感染対策
e-ラーニング	卒20 医療事故の情報収集・分析による再発防止の取り組み		2017 総会 共通 医療安全
e-ラーニング	卒05 チームで進める泌尿器科領域の患者安全		2017 中部 共通 医療安全
e-ラーニング	卒12 医療と研究における倫理		2017 西日本 共通 医療倫理

1

1

1

1

総会で受講しているため、カウントできない。

1

中部総会で受講しているため、カウントできない。

1

講習を何講座受講すればよいか？

③取得単位が、ii)～iv) にあてはまるか確認する

JUA WEBINAR受講完了状況（拡大）

受講完了状況		会員番号： 氏名：	
受講区分	コース・タイトル	属性	受講状況
WEBINAR	第1シリーズ「尿路上皮癌」No.2～診断～	2017 0 0 泌尿器科腫瘍	受講済 (2017/10/■)

1

講習を何講座受講すればよいか？

③取得単位が、ii)～iv) にあてはまるか確認する

次の点に特に注意して、集計する。

- 必要な講習単位の取得方法

「卒後教育プログラムで取得」「卒後教育プログラム以外で取得」など。

- 各項目の必須単位数と上限

講習を何講座受講すればよいか？

③取得単位が、ii)～iv) にあてはまるか確認する

(例) 【注】「i)診療実績の証明」(10単位)は満たしているという前提で、これを除いた「40単位」で計算。

				ii+iii) (講習単位) 単位数		iv) 単位数		合計
				卒後教育プログラム (必要講習単位の 40%以上) ※1	その他 (JUA WEBINAR・ 受講証で証明できる単位)	学術集会の参加 (参加単位は 6単位まで) ※2	業績発表 その他	
ii	共通講習 (3~10単位) ※4	必修講習 (各1単位以上) ※3	医療安全	3 単位	0 単位			3 単位
			感染対策	1 単位	0 単位			1 単位
			医療倫理	2 単位	0 単位			2 単位
		その他	0 単位	0 単位	0 単位			
		必修講習+その他 計		6 単位	0 単位			6 単位
iii	領域講習 (15単位以上)		17 単位	1 単位			18 単位	
iv	学術業績・診療以外の活動実績 (3~15単位) ※5				6 単位	0 単位	6 単位	
合計 (50単位) - 40単位 ※6				23 単位	1 単位	6 単位	0 単位	30 単位

※3「必修講習・
各1単位以上」を
クリア。

※4 下限 (3単位)
をクリア。

※5 下限 (3単位)
をクリア。

※6 10単位不足。

※1
「必要な講習単位の40%以上を卒後教育プログラム受講で
取得」をクリア。

(iv学術…の単位が6単位より増える予定がない場合)
講習単位34単位の40%
=14単位

※2
「参加単位は6単位ま
で」をクリア。
(参加による単位はこれ
以上認められない)

講習を何講座受講すればよいか？

④不足があれば、その分を受講する

不足分を講習を受講して満たす場合、次の点に特に注意する。

- 上限
- 必要な講習単位に対する割合
総会・地区総会で受講する卒後教育プログラムの割合（40%以上）
（総会・地区総会会場、e-ラーニングどちらでも可）

単位取得例

①主に総会・地区総会で取得する

				必須条件 チェック	受講方法	単位数	計
iii	共通講習 (3～10単位)	必修講習 (各1単位以上)	医療安全	○	卒後教育プログラム（1講座） 1講座につき1単位×1講座＝1単位	1	3
			感染対策	○	卒後教育プログラム（1講座） 1講座につき1単位×1講座＝1単位	1	
			医療倫理	○	卒後教育プログラム（1講座） 1講座につき1単位×1講座＝1単位	1	
		その他		-			
iii	領域講習 (15単位以上)			-	卒後教育プログラム（31講座） 1講座につき1単位×31講座＝31単位	31	31
iv	学術業績・診療以外の活動実績 (3～15単位) (最小3単位は総会・地区総会参加による) ※学術集会の参加単位で認められるのは6単位以下			○	総会に参加（1回） 1回3単位×1回＝3単位	3	6
				-	地区総会に参加（1回） 1回3単位×1回＝3単位	3	
合計 (40単位)							40

i) 診療実績の証明(10単位)…満たしているという前提で、これを除いた合計「40単位」で計算。

ii) 共通講習・iii) 領域講習…1講座あたりの単位数は、講習時間によって異なる。

単位取得例

①主に総会・地区総会で取得する

必要な講習単位（ii専門医共通講習＋iii泌尿器科領域講習）34単位の内訳

受講方法	単位数	割合
卒後教育プログラム	34	100%
その他 （JUA WEBINAR・講習単位認定プログラム・ 受講証で証明できる単位）	0	-
合計	34	

40%を超えている

単位取得例

②主にネットを利用して取得する

				必須条件 チェック	受講方法	単位数	計
iii	共通講習 (3～10単位)	必修講習 (各1単位以上)	医療安全	○	卒後教育プログラム（1講座） 1講座につき1単位×1講座＝1単位	1	3
			感染対策	○	卒後教育プログラム（1講座） 1講座につき1単位×1講座＝1単位	1	
			医療倫理	○	卒後教育プログラム（1講座） 1講座につき1単位×1講座＝1単位	1	
		その他		-			
iii	領域講習 (15単位以上)			-	卒後教育プログラム（13講座） 1講座につき1単位×13講座＝13単位	13	34
				-	JUA WEBINAR（21講座） 1講座につき1単位×21講座＝21単位	21	
iv	学術業績・診療以外の活動実績 (3～15単位) (最小3単位は総会・地区総会参加による) ※学術集会の参加単位で認められるのは6単位以下			○	総会に参加（1回） 1回3単位×1回＝3単位	3	3
合計 (40単位)							40

i) 診療実績の証明(10単位)…満たしているという前提で、これを除いた合計「40単位」で計算しています。

ii) 共通講習・iii) 領域講習…1講座あたりの単位数は、講習時間によって異なります。単位数は例です。

iv) 学術業績・診療以外の活動実績…記載した以外にも取得方法はありますが、主な取得方法を例として記載しました。

単位取得例

②主にネットを利用して取得する

必要な講習単位（ii専門医共通講習＋iii泌尿器科領域講習）37単位の内訳

受講方法	単位数	割合
卒後教育プログラム	16	43.2%
その他 （JUA WEBINAR・講習単位認定プログラム・ 受講証で証明できる単位）	21	-
合計	37	

40%を超えている

単位取得例

③iv) 学術業績・診療以外の活動実績を上限まで取得する

				必須条件 チェック	受講方法	単位数	計
iii	共通講習 (3～10単位)	必修講習 (各1単位以上)	医療安全	○	施設で実施している講習（1講座） 1講座につき1単位×1講座＝1単位	1	3
			感染対策	○	施設で実施している講習（1講座） 1講座につき1単位×1講座＝1単位	1	
			医療倫理	○	施設で実施している講習（1講座） 1講座につき1単位×1講座＝1単位	1	
		その他		-		0	
iii	領域講習 (15単位以上)		-	卒後教育プログラム（17講座） 1講座につき1単位×17講座＝17単位	17	22	
			-	JUA WEBINAR（4講座） 1講座につき1単位×4講座＝4単位	4		
			-	関連学会で実施している講習（認可されてい る講習のみ）（1講座） 1講座につき1単位×1講座＝1単位	1		
iv	学術業績・診療以外の活動実績 (3～15単位) (最小3単位は総会・地区総会参加による) ※学術集会の参加単位で認められるのは6単位以下		○	総会に参加（2回） 1回3単位×2回＝6単位	6	15	
			-	学会発表：筆頭（3件） 1件1単位×3件＝3単位	3		
			-	論文発表：筆頭（3件） 1件2単位×3件＝6単位	6		
合計 (40単位)							40

i) 診療実績の証明（10単位）…満たしているという前提で、これを除いた合計「40単位」で計算しています。

ii) 共通講習・iii) 領域講習…1講座あたりの単位数は、講習時間によって異なります。単位数は例です。

iv) 学術業績・診療以外の活動実績…記載した以外にも取得方法はありますが、主な取得方法を例として記載しました。

単位取得例

③iv) 学術業績・診療以外の活動実績を上限まで取得する

必要な講習単位（ii専門医共通講習＋iii泌尿器科領域講習）25単位の内訳

受講方法	単位数	割合
卒後教育プログラム	17	68.0%
その他 （JUA WEBINAR・講習単位認定プログラム・ 受講証で証明できる単位）	8	-
合計	25	

40%を超えている

指導医

- ①専門医更新認定条件を満たしていること
(学会専門医・機構専門医は問わない)
- ②泌尿器科に関する学術論文と学術集会での発表があわせて5件以上あること
初回の場合のみ…うち筆頭発表が1件以上
- ③指導医教育コースを1コース以上受講していること
- ④教育施設に3年間以上所属していること(非常勤可)

従来どおりで、変更はない。

日本泌尿器科学会の資格(のみ)のため。

専門医更新に関する主な案内・資料

▼専門医更新についてのご案内（2018年1月修正版）

ホーム＞ 専門医制度＞ 各種申請＞ 専門医更新・指導医申請

<https://www.urol.or.jp/specialist/appli/procedure.html>

※2017年10月に郵送でお送りした内容の修正版

▼泌尿器科専門医 新更新基準 V10

ホーム＞ 専門医制度＞ 専門医制度について＞ 新専門医制度について

https://www.urol.or.jp/specialist/system/about_new.html

※現在、機構用の単位システムを構築中。